

# 2020年3月期決算 及び中期経営計画

2020年6月8日

大崎電気工業株式会社  
代表取締役社長 渡辺光康

## 1. 2020年3月期 決算概要（前期比増収減益、計画比売上・利益ともに未達）

- **国内**：スマートメーターの需要減、価格低下により、前期比**減収減益**
- **海外**：新興国の大型案件等が加わり**増収増益**（⇒黒字化）  
年初計画比では部材の評価損計上などにより、**利益計画未達**

## 2. 2021年3月期 業績予想（前期比減収減益）

- 売上高800億円（**新型コロナ影響額：△120億円**）  
営業利益15億円（**新型コロナ影響額：△27億円**）
- **国内**：スマートメーターの需要減、価格低下の継続 + 新型コロナウイルス感染拡大による  
当社製品・サービス設置の一時的停滞により、前期比**減収減益**
- **海外**：新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）によるスマートメーター  
設置の一時的な停滞により、前期比**減収減益**

## 3. 中期経営計画（2021-25年3月期）

- 新型コロナウイルス感染拡大による今期業績の低下により、**昨年5月公表値より1年後ろ倒し**
- **国内**：アフターコロナの接触削減の**新たな生活様式へ向けた成長可能性**
- **海外**：各国**ロックダウン緩和後の需要拡大**へ向けた生産・供給体制の強化

# Agenda

---

- 1. 2020年3月期 決算概要**
- 2. 2021年3月期 業績予想**
- 3. 中期経営計画（2021-25年3月期）**

# **1. 2020年3月期 決算概要**

---

**1-1 損益計算書**

**1-2 貸借対照表**

**1-3 キャッシュフロー計算書**

# 1-1 損益計算書

## 前期比

- **売上高**：海外スマートメーターの販売好調により増収  
英国+51億円、イラク・クルド自治政府+54億円、カンボジア+20億円
- **営業利益**：上記に伴い海外増益も、スマートメーターの需要減、価格低下による国内の減益を補完するまでに至らず、全体では減益

## 年初計画比

- **売上高**：国内スマートメーターの需要減、国内ソリューション等の売上の期ずれにより未達
- **営業利益**：国内は、上記売上未達をコスト抑制、スマートメーター設置工事の伸びで補完も、海外で不用部材の引当金、空輸費用の増加等の一過性コスト計上により未達

(百万円)

	19/3期 実績	20/3期 年初計画	20/3期 実績	前期比	年初計画比
売上高	82,089	92,000	90,069	7,980	-1,931
国内	57,735	55,000	53,475	-4,260	-1,525
海外	24,353	37,000	36,593	12,240	-407
営業利益	4,299	4,300	3,691	-607	-609
国内	5,454	2,900	3,237	-2,216	337
海外	-1,148	1,400	440	1,588	-960
調整額	-7	0	13	-	-
経常利益	4,293	3,900	3,544	-748	-356
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,806	1,600	1,197	-609	-403

\* 国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

## 1-2 貸借対照表

- 海外事業拡大へ向けた過渡期にあり、現預金が一時的に減少
- 主に海外における、適正な在庫水準の維持、売掛金の回収により、現預金の水準を高めていく

	19/3期末	20/3期末	増減	主な増減理由
総資産	98,314	97,962	-351	流動資産：海外売掛金増加、 それに伴う現預金の減少 固定資産：会計基準変更に伴う リース資産計上により増加
流動資産	57,923	56,980	-942	
固定資産	40,391	40,981	590	
負債合計	39,432	39,324	-107	流動負債：仕入債務の一時的な減少 海外：短期借入金⇒長期借入金
流動負債	33,260	25,934	-7,325	
固定負債	6,172	13,390	7,217	
純資産	58,881	58,637	-244	
自己資本	47,695	46,790	-905	
非支配株主持分	10,710	11,303	592	
その他	474	544	69	
自己資本比率	48.5%	47.8%	-0.8%	

# 1-3 キャッシュフロー計算書

- 海外成長へ向けた過渡期、国内の利益水準の低下に伴い、2020年3月期の営業キャッシュフローは△4億円
- **2021年3月期**は、海外における売掛金回収、在庫コントロールの強化等により、新型コロナウイルスによる影響を織り込んでも、**営業キャッシュフローはプラスに転じる見込み**

	20/3期 実績	主なキャッシュの増減	
		国内	海外
税金等調整前四半期純利益	3,474		
売上債権の増減額 (△は増加)	-2,313	増加	減少
たな卸資産の増減額 (△は増加)	-968	減少	
仕入債務の増減額 (△は減少)	-3,830	減少	減少
その他 (減価償却費 他)	3,243		
営業活動によるキャッシュ・フロー	-394		
投資活動によるキャッシュ・フロー	-4,120		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-3,124		減少
長期借入金の純増減額 (△は減少)	5,024		増加
その他	-1,571		
財務活動によるキャッシュ・フロー	328		
現金及び現金同等物に係る換算差額	130		
現金及び現金同等物の期首残高	16,422		
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,366		

## 2. 2021年3月期 業績予想

---

### 2-1 業績予想

### 2-2 業績予想: 国内外

\*新型コロナウイルス拡散による業績への影響を織り込んでいます。



### 通期計画

- 海外成長により、連結でも増収増益を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、通期で前期比売上高100億円の減収、営業利益22億円の減益計画

(百万円)

	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q計画 (*)	前年 同期比	20/3期 実績	21/3期 計画 (*)	前期比
売上高	43,580	35,000 (-6,500)	-8,580	90,069	80,000 (-12,000)	-10,069
営業利益	2,033	-500 (-1,500)	-2,533	3,691	1,500 (-2,700)	-2,191
経常利益	1,946	-700 (-1,200)	-2,646	3,544	1,600 (-2,200)	-1,944
親会社株主に帰属 する当期純利益	845	-1,200 (-1,000)	-2,045	1,197	100 (-1,800)	-1,097

\* ( )内は、新型コロナウイルス拡散による影響額

### 前期比

- **国内**：スマートメーター需要低迷、価格競争の継続、ソリューションサービス、新規事業の大きな伸長は来期以降を前提に、もともと**厳しめの計画**これに**新型コロナウイルス拡散による影響を織り込み、減収減益計画**
- **海外**：英国、オセアニアにおける締結済契約に基づき**成長を見込んでいたが、主要国のロックダウンによる影響額を織り込むと、減収減益計画**

(百万円)

	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q計画	前年 同期比	新型コロナ 影響額	20/3期 通期実績	21/3期 通期計画	前期比	新型コロナ 影響額
売上高	43,580	35,000	-8,580	-6,500	90,069	80,000	-10,069	-12,000
国内	24,915	23,000	-1,915	-1,500	53,475	50,000	-3,475	-2,000
海外	18,665	12,000	-6,665	-5,000	36,593	30,000	-6,593	-10,000
営業利益	2,033	-500	-2,533	-1,500	3,691	1,500	-2,191	-2,700
国内	1,474	100	-1,374	-500	3,237	1,500	-1,737	-700
海外	561	-600	-1,161	-1,000	440	0	-440	-2,000
調整額	-3	-	-	-	13	-	-	-

\* 国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

## 3. 中期経営計画（2021-25年3月期）

### 3-1 中期経営計画の計数目標

### 3-2 海外事業の展開

### 3-3 国内事業の展開

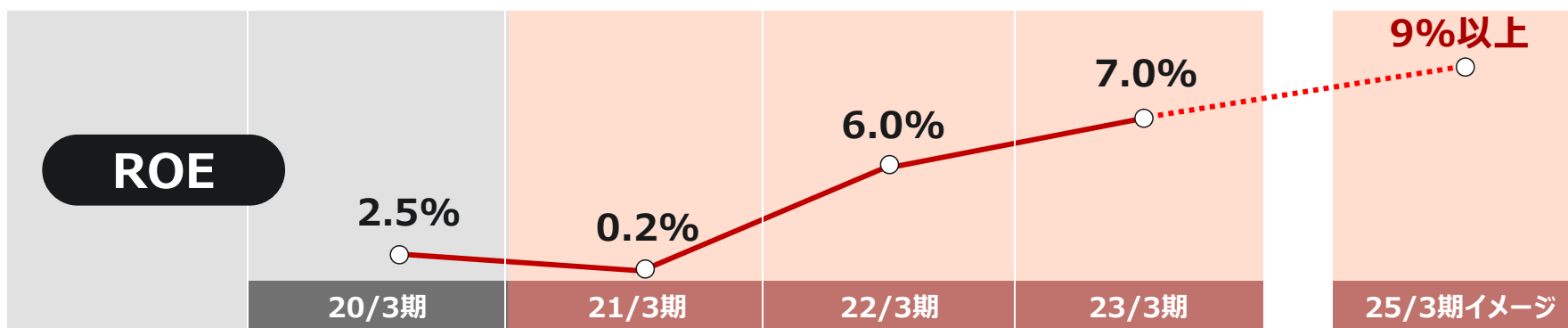
### 3-4 グループ経営基盤の強化

\*新型コロナウイルス拡散による業績への影響を、2021年3月期計画に織り込んでいますが、2022年3月期以降の中計目標／イメージには織り込んでおりません。

# 3-1 中期経営計画の計数目標

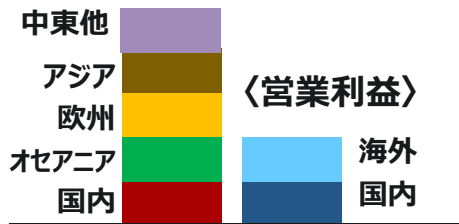
(億円)

	20/3期 実績	21/3期 計画	22/3期 目標	23/3期 目標	25/3期 イメージ
売上高	900	800	1,000	1,050	—
営業利益	37	15	50	60	80以上
営業利益率	4.1%	1.9%	5.0%	5.7%	—
経常利益	35	16	47	57	—
当期純利益	12	1	30	35	—
純利益率	1.3%	0.1%	3.0%	3.3%	—
ROE	2.5%	0.2%	6.0%	7.0%	9%以上
設備投資額	23	28	25	25	—
減価償却費	29	27	26	26	—
研究開発費	32	32	32	32	—



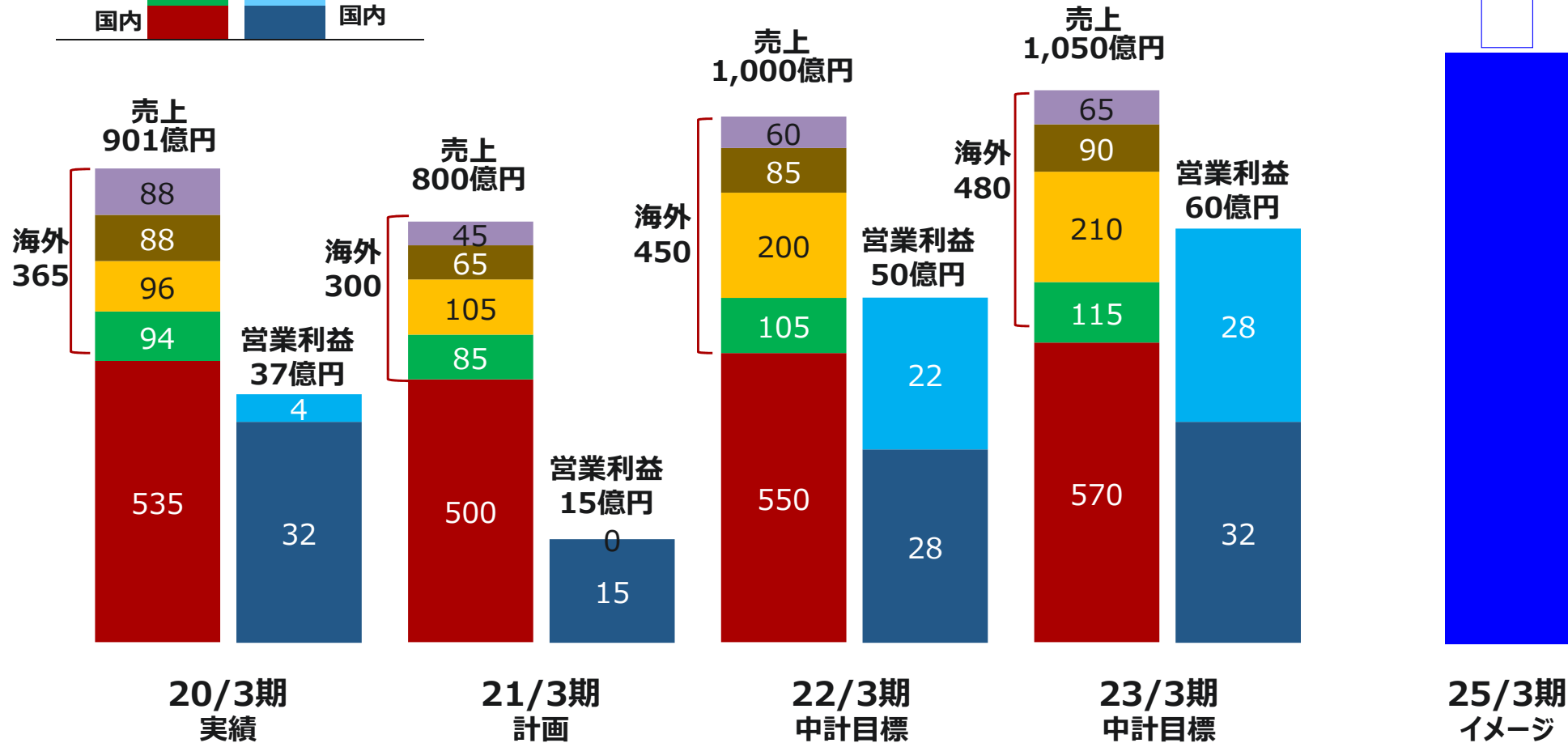
# 3-1-2 中期経営計画の地域別計数目標

〈売上〉



5年目イメージ

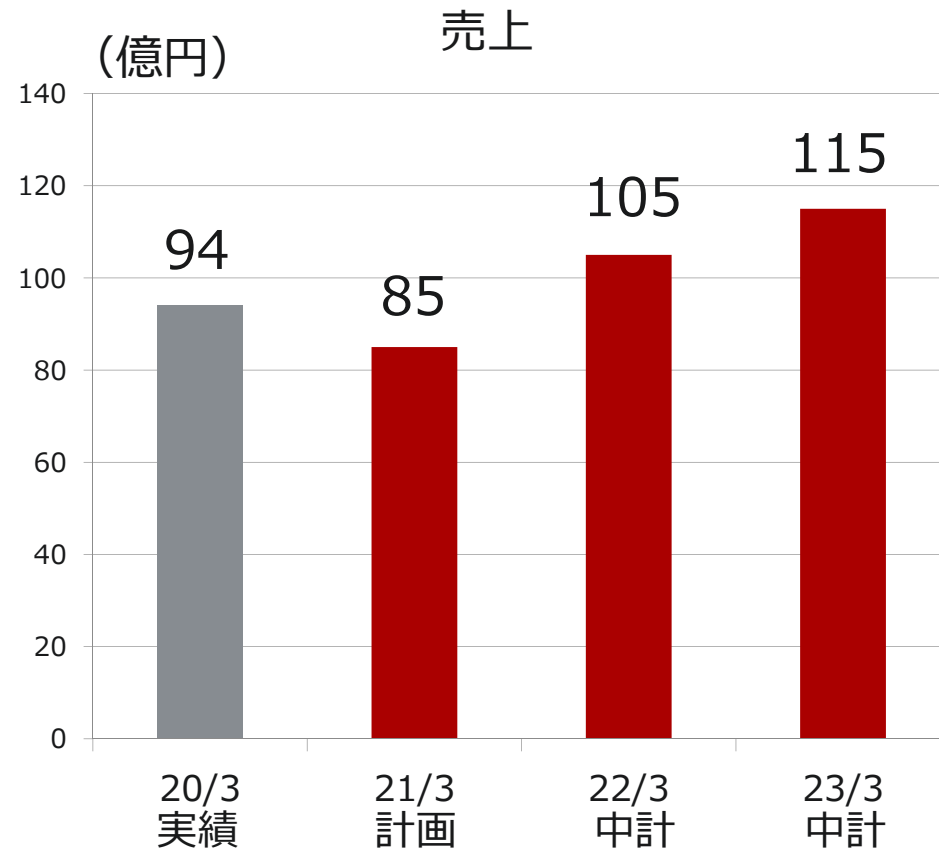
営業利益  
80億円以上



	20/3期実績	21/3期計画	22/3期中計目標	23/3期中計目標
海外売上比率	41%	38%	45%	46%
海外営業利益比率	12%	0%	44%	47%

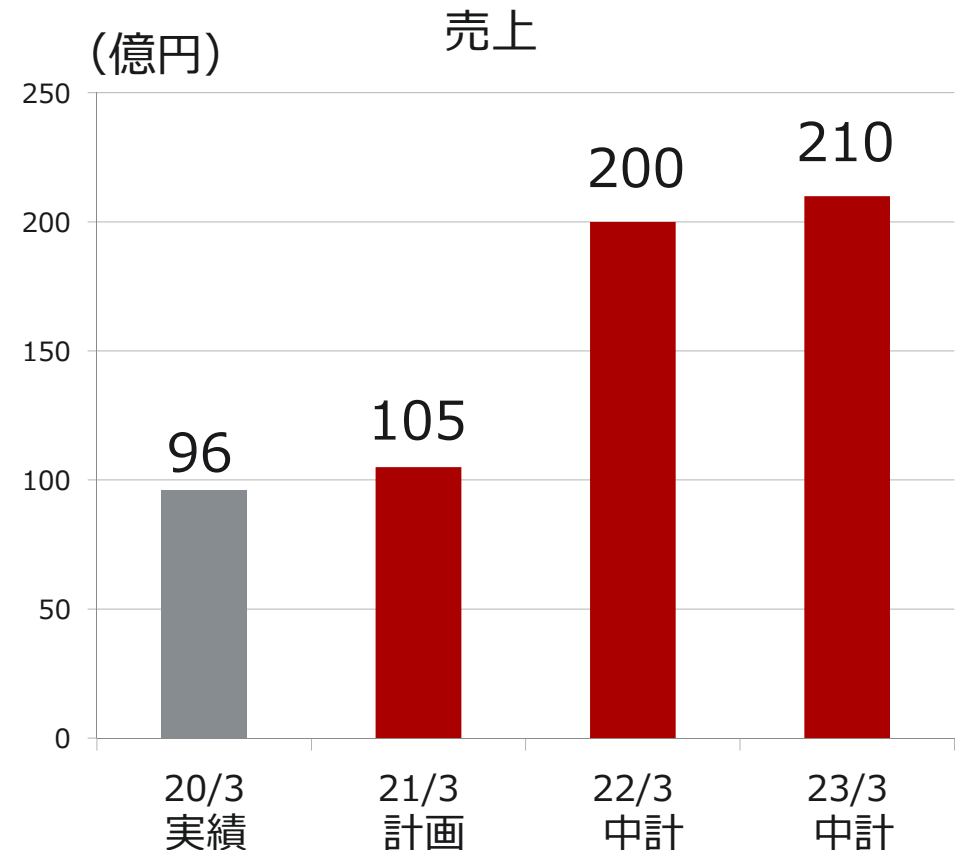
## 3-2 海外事業の展開

### オセアニア市場



- 20/3：一部顧客からの注文期ずれにより年初計画未達も、シェア75%程度を維持
- 21/3は一部州におけるロックダウンにより、メーター設置が遅延も、その後は需要拡大の見通し

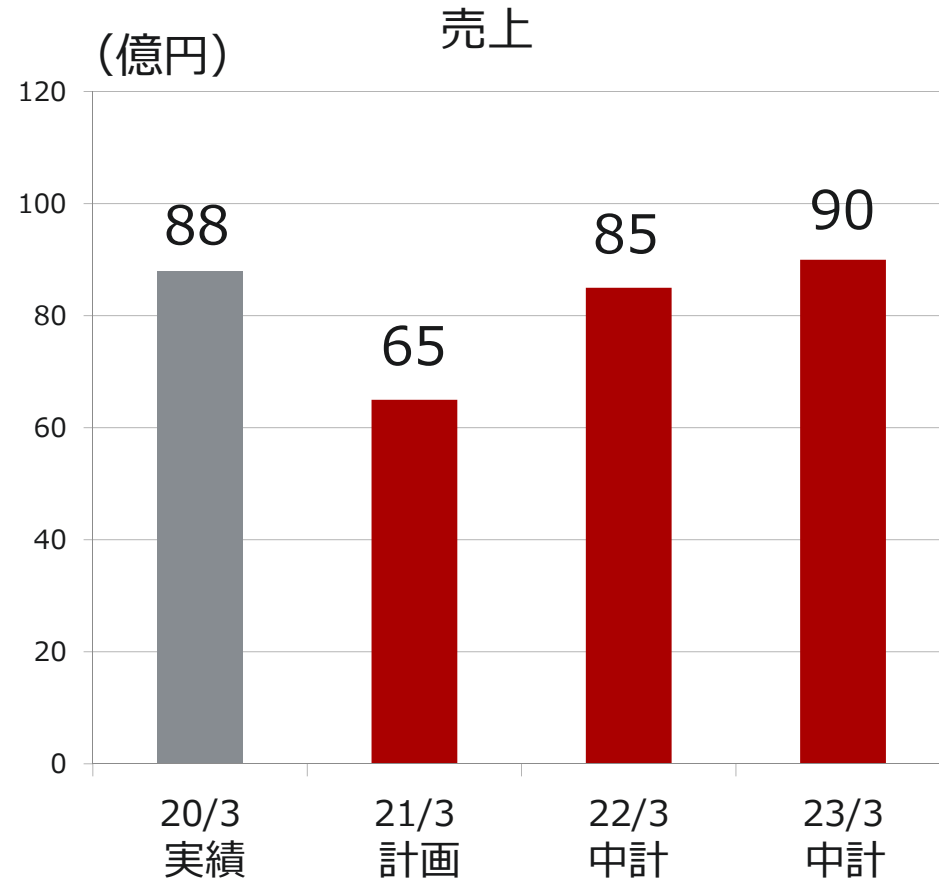
### ヨーロッパ市場 (英国プロジェクト)



- 20/3：英国プロジェクト期限延長等により、売上は年初計画未達も、4Qより売上伸長
- 21/3はロックダウンによりメーター設置が遅延も需要は継続、22/3期からピーク期へ入る見込み

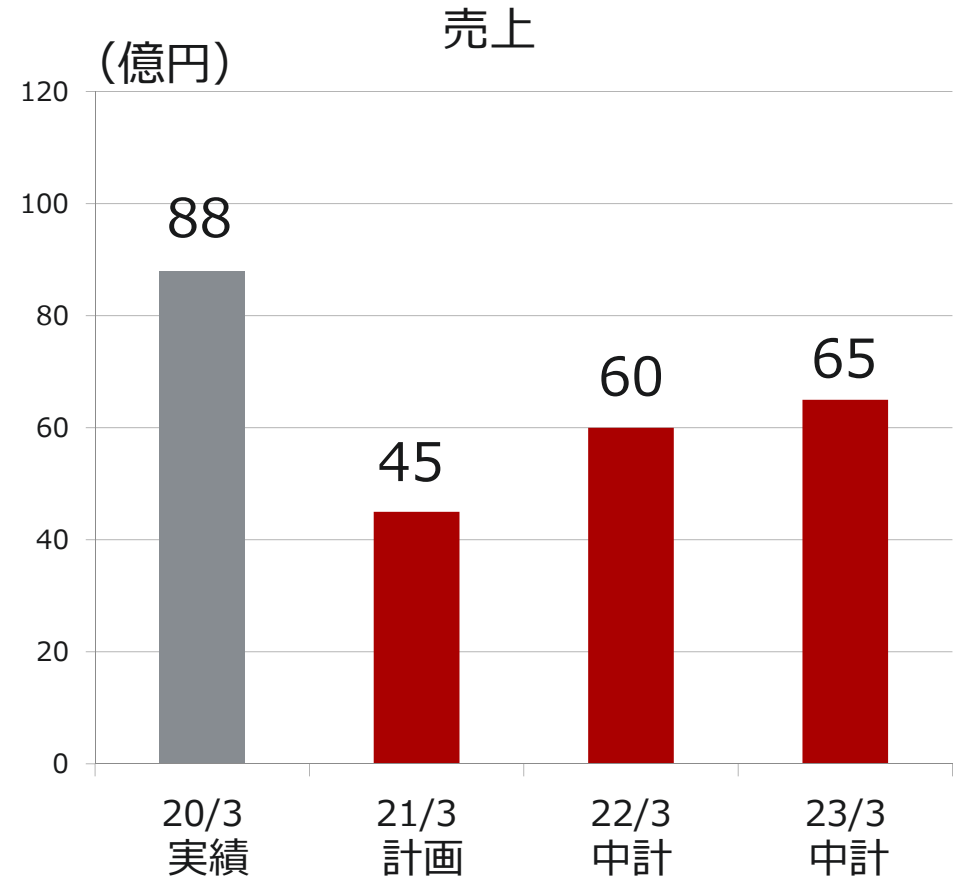
## 3-2-2 海外事業の展開

### アジア



- 20/3期：カンボジア向け売上（26億円）が大きく貢献
- 21/3期は上記の反動減、ロックダウンの影響により減少も、中期的に安定成長を見込む

### 中東等・新興国



- 20/3期：イラク・クルド自治政府向け売上（74億円）が大きく貢献
- 21/3期は上記の反動減、ロックダウンの影響により減少も、中期的な成長ポテンシャルは高い

## ■ 接触を削減する「新たな生活様式」の実現に向けた、スマートソリューション事業の拡大

### 「新たな生活様式」を実現する スマートソリューション事業

#### ■ セキュリティソリューション

セルフ内見や置き配達を  
可能にするキーレスエントリーシステム



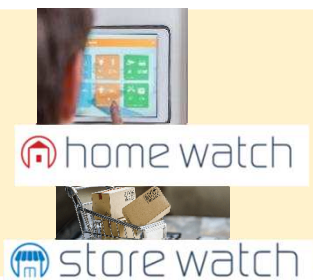
#### ■ スマートメータリングシステム

電気、ガス、水道などを  
**遠隔検針**



#### ■ IoTソリューション

家電などセンサーによる  
**遠隔制御**



#### ■ エネルギーマネジメントシステム

設備の電力消費を  
**遠隔管理**



### アフターコロナに貢献する付加価値

非対面

非接触

リモート化



## 3-3-2 国内事業の展開

オペロ

### ■ キーレスエントリーシステム『OPELO』

- ・2018年より賃貸不動産管理会社向けのサービスとして提供開始
- ・“鍵の管理”に伴う時間、人的資源の削減を解決

#### 特徴① 空室時/入居時モード切替

- ・空室時 ⇒ ワンタイムパスワードによって不特定多数が出入り可能
- ・入居時 ⇒ 入居者が設定した解錠方法のみで入室可能

#### 特徴② 高いセキュリティ

- ・ネットワークを利用しないため、ハッキングの被害なし
- ・既存のシリンダーへ完全固定するため、剥がされる被害なし

#### 特徴③ 多様な解錠方法



OPELO

## ■ キーレスエントリーシステム『OPELO』の広がる活用事例



### ■ 賃貸物件向け（採用済）

- ジェイエーアメニティーハウス様、  
トヨタホーム様 他ご採用



### ■ シェアハウス向け（採用済）

- KUROFUNES様ご採用



### ■ 置き配サービス（新たな取り組み）

- オートロックエントランス向けのシステムを開発
- 不在時でも玄関前までの配達を可能に



### ■ 貸し会議室・レンタルスペース向け（採用済）

- スペース様ご採用



### ■ アフタースクール、塾など（採用済）

- マンションの共用施設など空きスペースを学童保育やお習い事教室用に使用
- 民間学童保育事業者ご採用



### ■ 民泊物件の時間貸しサービス（発表済）

- 空き部屋をワークプレイスとして時間貸し



### ■ 賃貸物件セルフ内見サービス（採用済）

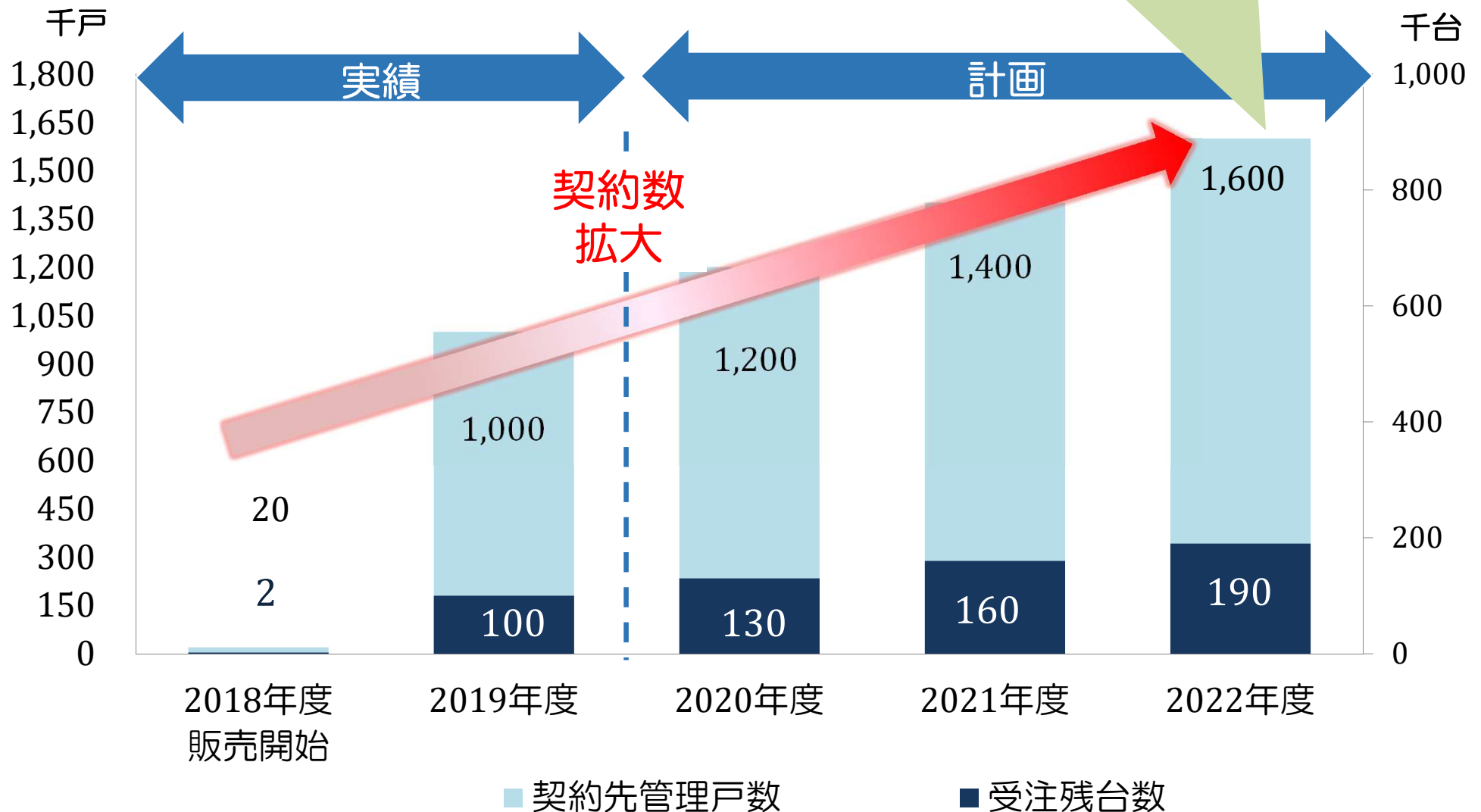
- 内見希望者が不動産会社の立会いなしで、希望の日時にセルフで内見
- タイセイハウジー様ご採用

### 3-3-4 国内事業の展開（実績）

#### ■ スマートロック『OPELO』実績

オペロ

2022年度には、契約済み大手5社の管理戸数の10%受注を目指す



## 3-4 グループ経営基盤の強化

### 執行役員制度の導入

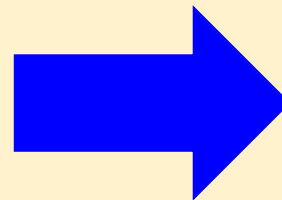
グループ経営の機動性を高める目的で、2020年6月25日から執行役員制度を導入予定

取締役：グループ経営の意思決定、業務執行の監督

執行役員：明確な権限、責任に基づく事業の執行

#### 現状

取締役：15名  
(うち社外取締役2名)



#### 2020/6/25～

取締役：7名  
(うち社外取締役2名)

執行役員：12名  
(うち取締役兼務者4名)

新型コロナウイルス拡散により延期を決定したものの、グループガバナンスの更なる強化へ向けて、持株会社体制化についても、継続的に検討

A futuristic cityscape with a large, glowing blue sphere in the center, surrounded by colorful geometric shapes. The city is rendered in a blue and green color palette, with buildings and trees. The sphere is a bright blue with a white ring around its equator, and it is surrounded by various colorful polyhedrons and particles. The overall scene is vibrant and futuristic.

# Global Energy Solution Leader

エネルギー・ソリューションを通じて、世界に新たな価値を。

## 参考資料

---

- ・業績データ
- ・グローバルマーケット
- ・当社グループのESG
- ・株主還元方針

(百万円)

		17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 計画
<b>売上高</b>		86,159	78,780	82,089	90,069	80,000
	国内	63,448	60,158	57,735	53,475	50,000
	海外	22,710	18,621	24,353	36,593	30,000
<b>営業利益</b>		7,692	5,544	4,299	3,691	1,500
	国内	7,023	6,010	5,454	3,237	1,500
	海外	670	-461	-1,148	440	0
	調整額	-6	-4	-7	13	0
<b>為替</b>		78.75円/SGD	81.26円/SGD	110.43円/USD	109.05円/USD	109.05円/USD

※ 1 国内：大崎電気工業及び国内子会社 海外：海外子会社（管理会計上の参考値）

※ 2 2021年3月期計画は、新型コロナウイルス拡散による影響を織り込んでいます。

# 地域別 売上高 (外部売上)

(百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 計画
日本	63,236	59,927	57,735	53,475	50,000
海外	22,923	18,852	24,353	36,593	30,000
オセアニア	9,110	7,807	9,522	9,422	8,500
ヨーロッパ	5,248	3,858	4,449	9,558	10,500
アジア	7,431	6,168	7,086	8,841	6,500
その他	1,133	1,017	3,295	8,770	4,500
連結	86,159	78,780	82,089	90,069	80,000

※ 1 有価証券報告書開示ベース (海外売上に日本からの輸出額を含む)

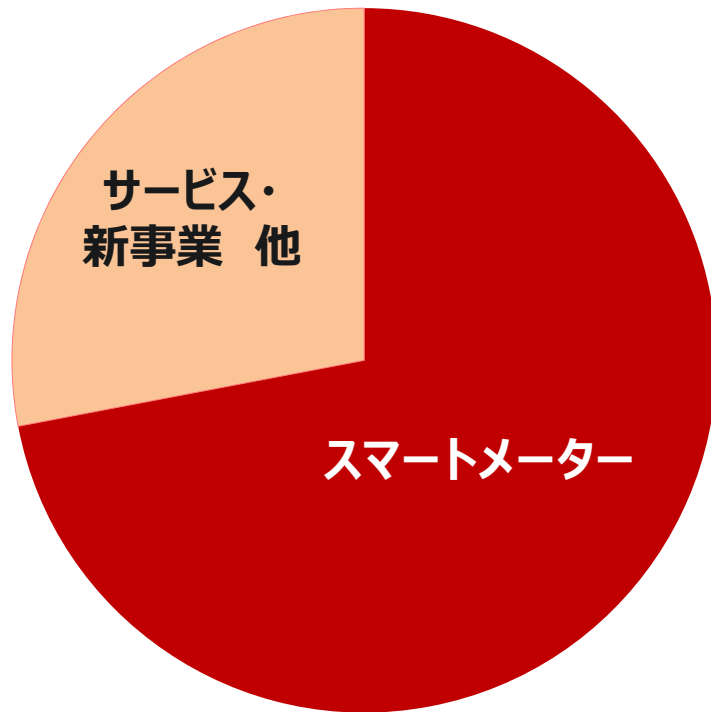
※ 2 2021年3月期計画は、新型コロナウイルス拡散による影響を織り込んでいます。



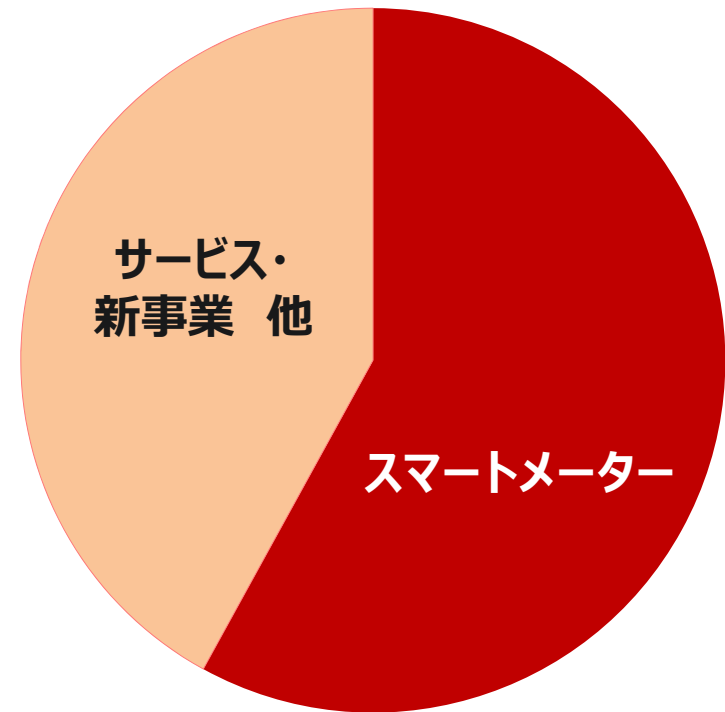
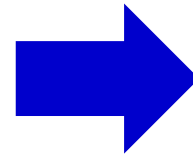
（百万円）

	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
<b>メーター</b>	38,820	49,591	43,439	45,805	52,402
国内 電力量計	25,557	34,973	31,947	31,149	27,136
スマートメーター	20,489	32,089	29,890	28,942	23,948
その他	5,067	2,884	2,057	2,207	3,188
海外 スマートメーター	13,263	14,618	11,492	14,655	25,266
監視制御装置	9,447	10,697	9,717	12,156	14,282
盤製品	8,208	8,066	7,144	7,097	7,847
計器用変成器	3,965	4,400	4,925	4,772	4,767
その他（調整額含む）	12,977	12,206	11,690	10,371	9,010
<b>合計</b>	<b>73,420</b>	<b>84,962</b>	<b>76,917</b>	<b>80,203</b>	<b>88,310</b>

※管理会計上の参考値



2020年3月期売上実績：535億円

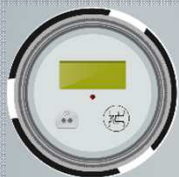


2023年3月期売上（目標）：570億円

## 電力量計の規格

### ANSI規格

ソケットタイプ（計量部と配線部  
をコンセントで接続）  
⇒北米、台湾、フィリピン等



### IEC規格

ボトムタイプ（計器の下部で配線接続）  
⇒世界の約80%が使用



## OSAKI・EDMIの商圏

# 海外ロックダウン（都市封鎖）の状況（6月上旬時点）

## ○ 主な事業展開国

国名	政府の対応
英国	・3月下旬からのロックダウンを、5/11に緩和計画発表、段階的に緩和が進行中
オーストラリア	・3月中旬からのロックダウンを、5/8に緩和計画発表、段階的に緩和が進行中
ニュージーランド	・3月下旬からロックダウン、5/14より条件付きでロックダウン緩和

## ○ 本社機能

国名	政府の対応	当社グループの対応
シンガポール(海外グループ本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/7～6/1: Circuit Breaker(都市封鎖)</li> <li>⇒6/2より段階的に緩和</li> <li>*6/8から、中国の一部地域との公用、商用目的での出入国の許可を発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020/4/7より在宅勤務を義務付け</li> <li>・6/1の後も、在宅勤務70%以上義務付け</li> </ul>

## ○ 主な生産国

国名	政府の対応	生産状況
マレーシア: 自社工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月中旬よりロックダウン(～6/9)</li> <li>⇒ソーシャルディスタンス条件に生産再開許可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月中旬より条件付きで生産再開</li> <li>⇒段階的に生産数増加</li> </ul>
中国(深セン): 自社工場		・2月中旬より通常生産再開
中国(山東省): 英国向け電気メーター外注先		・2月中旬より通常生産再開
中国(浙江省): 英国向けガスメーター外注先		・2月中旬より通常生産再開
インドネシア: 自社工場	・4月中旬よりロックダウン	個別認可取得により通常生産継続中
ルーマニア: 英国向け通信ハブ外注先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックダウン(3月中旬～5/14)、</li> <li>5/15から警戒レベルを緩和</li> </ul>	・通常生産継続中

## Environment

事業プロセスにおける環境への配慮

**環境課題  
の解決**

CO<sub>2</sub> 排出削減に寄与する  
製品・サービスの提供

スマートメーターに加えて、省エネ、効率的なエネルギー活用、使用状況の見える化を実現する製品・サービスを国内外で提供

**自らの環境  
負荷を低減**

資源循環の促進

環境調和型製品の製造  
廃棄物の削減・再資源化率向上  
有害化学物質の削減

## Social

事業を通じた社会的課題の解決

**計測・制御  
技術**

測る・つなげる技術で安心・  
安全と新たな価値を提供

ビル、街、店舗、マンション、家屋、農地など幅広い  
シーンで快適で安心・安全な環境づくりに取り組み、  
AI・IoTを活用した新しい価値を創造

**多様性**

人財のダイバーシティと  
様々な人々との共働

国・業種・組織の枠を超えて様々な人々がつながり  
共働して、新しい価値の創造に挑戦

EとSを推進するガバナンス

価値創造とリスク最小化に取り組む

## Governance

**経営**

取締役会の実効性

ガバナンスの要である取締役会の実効性評価を毎年実施  
➔ 継続的な改善で実効性を高める

**監督機能**

指名・報酬諮問委員会

2019年2月に指名・報酬諮問委員会を設置。  
委員長は社外取締役。構成メンバーの過半は社外役員  
➔ 公正性・客観性・透明性を確保

## 配当方針

- 安定的な配当を前提として、業績に応じた成果配分を行う
- DOE（株主資本配当率）2%と配当性向30%のいずれか高い額を目安に決定

		17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期計画
1株当たり配当金	中間/期末	8円 / 12円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円
	年間	20円	20円	20円	20円	20円
配当金総額	年間	959百万円	976百万円	978百万円	978百万円	
連結配当性向	年間	24.8%	36.6%	54.1%	81.7%	980.4%
DOE	年間	2.5%	2.3%	2.2%	2.2%	2.2%

## 自己株式の取得に関する方針

- 資本効率向上を重視し、手持ちキャッシュ、運転資金、直近の業績や株価、投資案件の有無等を総合的に勘案して継続的に検討

**大崎電気工業株式会社**  
**東証1部：6644**

**<お問い合わせ先>**

**IR広報部**

**Tel: 03-4476-8046**

**[ir@osaki.co.jp](mailto:ir@osaki.co.jp)**

- 本資料は監査を受けていない参考数値を含んでいます。
- 本資料に記載の将来の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料の複製、内容の転載はご遠慮ください。